



ごあいさつ

日頃から市政へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。
一昨年春から始まった新型コロナウイルス感染症は、変異を重ねるたびに感染拡大の波が大きくなり、一向に収まる気配がありません。元の生活を取り戻すためには、ワクチン接種の効果に期待し、感染予防の努力を続けながらこのコロナと闘っていかねばなりません。

今しばらくお互いに頑張ってみましょう。

一方、我が国はもとより世界中がコロナ対策で大変な時に、ロシアが隣国ウクライナに武力でもって侵攻、平和を望む国際世論を無視、大変危険な状況となっています。

コロナ対策と戦争の脅威、内憂外患、厳しい日々が続きます。

令和4年度神戸市予算は新型コロナウイルスの感染防止と医療体制の維持、市民生活の安定と経済活動の維持・回復に重点をおいた予算となりました。

市会では市民生活に直結する諸課題について各種議論がなされ、私も会派を代表し関係当局に質疑(4頁に要点を報告しています)いたしました。また、ウクライナへのロシアの侵攻に対して厳しい抗議を全会一致で採択いたしました。

今後とも皆様からのご要望やご意見をいただき、諸課題をしっかりと受け止めながら活動を続けてまいります。



令和4年3月4日 予算特別委員会質疑

兵庫運河の自然を再生するプロジェクトが動いています

①兵庫運河(貯木場の跡地・浜山小学校前)では海草「アマモ」が育っています

2020年国土交通省が港湾整備のため第5防波堤撤去工事から出た廃棄される土砂や石材を使った、兵庫運河に人口の干潟を作りました。その干潟に地元の漁業組合や兵庫運河を美しくする会など地域の皆さんが、水質浄化や藻場の造成、環境美化活動をするなか、また、浜山小学校の生徒たちの環境学習も兼ね、アマモの移植や育成に取り組んでまいりました。ここ数年移植した場所から離れた場所にも広がりを見せ、かなりの成果が出ています。



広報紙KOBÉ3月号より市長のコメント



兵庫運河での環境学習 浜山小学校の子供たち

②兵庫運河が脱炭素社会の実現に向けた「Jブルークレジット認証申請が認証されました」

近畿地方整備局は脱炭素社会の実現に向けて港湾にカーボンニュートラルポートの形成に取り組んでおり、この度兵庫運河の「兵庫運河の藻場・干潟と生きもの生息場づくり」のプロジェクトに、Jブルークレジットの譲受人公募が行われました。(公募期間令和3年12月28日～令和4年1月31日)

③ブルーカーボンの取り組み、あさり・アマモの育成事業や環境学習を区内の各小学校に広げては

兵庫運河では貯木場廃止のあと、神戸市環境局が水質浄化のため、地元有志と各小学校の生徒や父兄とともに市内の真珠会社の協力・指導のもと真珠貝プロジェクトを立ち上げ活動を続けています。また、今回地元浜山小学校の子供たちが漁業組合・地元の有志の皆さん指導協力のもと環境学習として干潟にあさり・アマモの育成に取り組む成果を上げています。

このように兵庫運河を核として「持続可能な社会を作るため海の環境を守る」こうした環境教育を楽しみながら学べる活動を広く区内の小学校に広げては…と私は議会で発言し、教育委員会や学校側の理解を得ながら進めています。(4頁のことも家庭局・教育委員会の質疑を参照ください)



浜山小学校での環境授業